

# 一般質問



高村

智 議員



録画映像

北斗市の小・中学生に関する件

**問** 学力・学習状況調査の結果から今後の対策は

**答** 教育長 授業改善、教職員の意識改革などに努める

**問** (1)令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果からの課題と今後の対策についてお知らせください。

(2)厚生労働省が2023年に公表した報告書では、日本の子ども(17歳以下)の相対的貧困率は11.5%で、日本の子ども約9人に1人が貧困状態にあると示していますが、この数字を見て市長はどのように感じ、何をしなければならぬと考えているのか。

また、「子ども第三の居場所」についてどのような考えを持っているのか。

(3)食育については栄養教諭により、給食の提供にはたくさん工夫がされ、保護者からも評価が高いと聞いています。

そんな中でも一部の子どもたちには様々なアレルギーを持つ子どもが増えているように感じます。

現在、食物アレルギーを持つ子どもへの対応の中で、問題点はどのようなことがあるのかお知らせください。

(4)北斗市における小・中学校児童生徒の不登校の人数について、直近の人数をお知らせください。

**答(市長)** (2)子どもの約9人に1人が貧困状態にあるという現状は、決して看過できるものではないと感じています。

今後も、今まで以上に、民生部と教育委員会の連携を強めるとともに、地域の実情に応じて、関係者の連携や協力も必要になるものと考えています。

**答(教育長)** (1)本市における全国学力・学習状況調査の結果については、小学校では令和3年度、中学校では令和4年度から全国平均を下回っています。

課題としては、様々な場面で知識・技能を活用し、思想・判断・表現する点などが挙げられます。

対策としては、教育委員会及び教職員が構成する学力向上プロジェクトチームが中心となって授業改善に取り組み、子どもたちの学習意欲向上など、さらなる教職員の意識改革にも努めてまいります。

(3)食物アレルギー対応の基本的な考え方は、すべての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しく過ごせることで、安全性を最優先に関係機関が相互に連携し、対応することが不可欠であります。問

題点としては、症状がある児童生徒であっても、保護者がアレルギー対応を望まないなどといった事例があります。

(4)北斗市内の不登校児童生徒数については、直近の今年1月末現在で、小学校45人、中学校99人、計144人となっています。



市内小学校での給食の様子

『音楽のまち・ほくと』に関する件

**問** 「音楽のまち・ほくと」を掲げた取り組みをどう進めていくのか

**答** 市長 今後は、シティプロモーション事業の再構築に取り組み、市の魅力度と認知度の向上を図る

**問** 音楽活動をしている方には好評な一方、「北斗市はいつから偏った考え方をしているのか」と厳しい意見を言われる市民

も多くいます。

スポーツなど、子どもたちの勝っても負けても一生懸命競技に取り組む姿勢に、保護者や観客は感動を与えられています。

「ふるさと納税の返礼品に吹奏楽のDVDを出していることに違和感を覚える」、「吹奏楽部が全道に出場できなかったら、子どもたちへのプレッシャーは怖くて想像できない」と言われました。

今後「音楽のまち・ほくと」を掲げた取り組みをどう進めて行こうとしているのか、市長の考えをお聞かせください。

**答(市長)** 市としては、音楽活動のみではなく、スポーツ、文化活動などの促進を幅広く支援しており、今後は、より効果的な事業への進化を目指し、シティプロモーション事業の再構築に取り組み、様々な機会を通じて北斗市のPR、魅力度と認知度の向上を図ってまいります。

新型コロナウイルス接種に関する件

**問** ワクチン接種台帳の保存期間はどのようになっているか

**答** 市長 予防接種法施行令において、接種を行ってから5年間の保存が義務づけられている

